

第5回 大阪狭山市都市計画マスタープラン策定委員会

日時：令和3年11月1日(月)午前10時～

場所：第3・4会議室

出席者：

上南木委員、清水委員、山村委員、上田委員、中嶋委員、佐島委員、小原委員、小谷委員、長尾委員、谷委員、古頃委員、田中委員、新田委員、楠委員、山本委員、三井委員、山田委員、山本委員

欠席者：なし

事務局：

都市整備部理事、都市整備部次長、都市整備部都市計画グループ課長、同グループ参事、同グループ主任、同グループ主任

傍聴者：0名

議題(案件)：

1. 開会
2. 第4回策定委員会からの主な変更点と今後の予定について
3. 大阪狭山市都市計画マスタープランの改定について
4. 意見交換
5. その他
6. 閉会

説明資料：

【資料1】：第4回策定委員会からの主な変更点と今後の予定について

【資料2】：計画改定スケジュールについて(令和3年11月1日時点)

【資料3】：大阪狭山市都市計画マスタープラン【本編】(素案)

【資料4】：大阪狭山市都市計画マスタープラン【概要版】

【参考資料1】：第4回策定委員会での意見とそれに対する見直しの方向性について

議事経過：

| 発言者 | 発言の内容 |
|-----|--|
| 事務局 | 開会 |
| 委員長 | <p>挨拶</p> <p>本会議の後、12月～1月にかけて、計画素案に対するパブリックコメントを実施予定とのことですので、実質的な意見交換の場は、本日が最後となります。活発な意見交換をお願いします。</p> |
| 事務局 | <p>配布資料の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配布資料の確認 |
| 委員 | <p>意見交換</p> <p>P30の「地域コミュニティの活性化と狭山ニュータウン地区での取り組み」について、「地域コミュニティの弱体化」とあるが、コロナの影響で1年前と今では状況が全く違う。活動が全くできなくなっており、防災組織も活動できていない。今後果たして本当に活性化できるのか、疑問である。既存の地区でも地域コミュニティが衰退してきているので狭山NT地区とは別枠の問題として記載できないか。活性化と再生に向けた取組というような項目に入れていただければと思う。その中にコロナの影響についても記載していただきたい。また、狭山ニュータウン地区についても人口減少が進んでいることから、学校園のあり方委員会でも議論がはじまっている。NTについても活性化は難しいのではないかと考えている。</p> |
| 委員長 | <p>地域コミュニティの活性化ではなく再生であるという強いメッセージを出すことについては両地区とも共通している。狭山NT地区の人口減少の背景には、高齢化している方が地域で暮らしにくくなっているという事もあり、そのあたりもリンクしていくと思う。別ではなく、一体で考えても良いかと思う。</p> |
| 委員 | <p>自治会は世代ごとに抜ける。その理由を聞くと、私の子供も中学、高校生になると地域にお世話になることがなくなるからだと言う。今の40代ぐらいの親世代に聞くと今まで受け身であったが、提供する立場になるとやめてしまう。</p> |

| | |
|------|---|
| 副委員長 | <p>土地利用の部分にコミュニティの問題を大きく書き込んでいることに違和感がある。コミュニティという言葉在前面に出しすぎてしまうと、今のようなご指摘が出るのかと思う。土地利用という視点をしっかりもって表現しては、また、分けたらどうか、というご指摘であるが、都市マスの中で、どこまで細分化するかは検討しないといけない。コミュニティをそのまま書くのであれば、節を土地利用・まちづくりであったり、土地利用だけではないというようにすれば良いのではないか。</p> |
| 委員長 | <p>都市マスの中で地区ごとに話をすると整理が難しい。市全体の中での課題として、ご指摘の点は反映できると思う。タイトルを分けすぎると他の部分にも影響するのではないか。</p> |
| 委員 | <p>この部分は深刻な状況なので、多少ネガティブな表現でも良い。</p> |
| 事務局 | <p>タイトルが「地域コミュニティの活性化と狭山ニュータウン地区での取り組み」となっているが、「狭山ニュータウン地区」とタイトルで言ってしまうと、そこだけ目立つ。例えば、「地域の再生と活性化」で止めておき、内容は市全体の地域再生と活性化の話として、狭山ニュータウン地区についてはすでに進めている事業もあるので、それについて代表として載せるといった整理でよいか。</p> |
| 委員長 | <p>その方向性で良い。</p> |
| 副委員長 | <p>p22 で、市街化区域が全体 64.7%ということで記載しているが、これは一般市街地と商業を足したものであると思う。64.7%の読み取り方を図に示して欲しい。</p> <p>p31 の部分。図 2-11 だと思うが、図のタイトルのレイアウトがわかりにくい。</p> <p>P49 については、公共用水のことについて書かれているが、強みの方針 は、都市計画制度といった大枠の話であるのに対し、下水のところだけが具体的に描かれている印象を受ける。本方針のバランスをみて、下水についてはもう少し軽めに表現したらどうか。</p> <p>P64 の公共・文化交流拠点において、狭山池の部分が追加されているとのことであるが、事例として市役所、今熊・狭山ニュータウン、狭山池という順番であるが、できれば東から順番に書く等、地名を出す際は何かしらの法則性があると良い。</p> |

| | |
|------------|--|
| <p>委員長</p> | <p>P93 一番下の行について「取り組むとともに、の」の「、」と「の」はいらない。</p> <p>P99 に治水、内水という言葉が出るが、内水という言葉ははじめてここで出てくると思う。この言葉は一般的なのか。ご検討いただきたい。</p> <p>P108 の部分。(3) で一つ目のところに「～概成しています」という事実が書いてある。他のところには、これからの方針について記載されているため、ここになくても良いのではないか。</p> <p>P125 図の通し番号がずれている。</p> <p>P129 のモニタリング調査は 10 年間されないというように捉えられる。インプット、アウトプット、モニタリングをぐるぐる回していくのであれば、10 年間モニタリングしないのはもったいないと思う。中間見直し時など、どこかのタイミングでアウトプットとモニタリングができれば一番良いと思う。</p> <p>モニタリング評価については同意見である。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>p49 について、下水道や生活環境の内容は、高質な居住環境に係る内容であるため、そこを説明するような表現にすれば、もう少し自然になるかと思う。また、内水という文言については、治水対策が河川改修など大阪府が行うような整備の話がメインになるため、あえて浸水対策というタイトルにしている。P99 内水については「浸水対策等」といった表現にしておき、内容は浸水の話を中心にし、補足的に治水の話を示すと、自然になるかと思う。そうすると治水の話が先に来るため、浸水の内容を上を持ってきて、下に治水の内容を持ってくると浸水対策をメインとしつつ、バランスがとれるのではないか。</p> <p>P129 モニタリングについては、中間見直しの際に改めてアンケート等を実施するのは時間的に厳しい。総合計画では令和 6 年度、7 年度あたりに調査を行うそうなので、その調査結果や国勢調査のデータ等を使いながら中間報告という形でモニタリングの内容を報告することは可能ではないかと考えている。細かな誤字脱字は改めて確認する。</p> <p>P109 については、項目として出しているため少し違和感があるが、項目中に溶け込ますような表現とするか、全く書かないのか検討し、後日確認という形で良いか。</p> |
| <p>委員長</p> | <p>P109 についてはそのような方向性で良い。事務局から話があったように総合計画では 5 年ごとの調査を行うため、そこに関わる項目を入れていただけると良いかと思う。事務局として、そのような方向性で良いか。</p> |

| | |
|-----|---|
| 事務局 | そのようにさせていただく。 |
| 委員 | p72 の市街地ゾーンについて、低層住宅エリアに池尻自由丘地区が入っているが、中低層住宅エリアにも池尻自由が丘が入っている。P80 の図では分かりにくい。どこでどのように分かれているのか。以前、自由が丘に高層マンションが建ったが、周辺で反対運動がおこった。行政の対応は、開発業者の書類上の不備が無ければ OK という事であったが、今後もそのようなことは起こりうるか。 |
| 事務局 | 土地利用の方針のエリア分けについては、p80 の黄色の部分が中低層、緑の部分が低層住宅エリアとなっている。これらは用途地域に対応しており、p26 の図で見ると、大まかにはこのエリア(用途地域)に合わせた形である。ご指摘の、高層のマンションが建っているのが、黄色の部分。法的には問題が無いので建っている。第 4 章に書いているのは法的なものではなく、市の考え方であり、それに基づいて用途地域を設定している。地区の中にエリアが 2 つあるため、低層、中低層双方に自由丘の記載がある。 |
| 委員 | p9 の変化する生活様式の部分に、コロナについて書いてある。しかし、本文にコロナの要素が全く出てこない。この時期につくるマスタープランなのでコロナの感染リスクについても書いていただきたい。自然災害の部分になるか。 |
| 委員長 | 先ほどご指摘があった p30 のあたりなどにもそういったキーワードがあったほうが良いかと思う。 |
| 事務局 | 新しい生活様式について、屋外空間が注目されているという視点で、みどりの拠点等の部分には反映しているが、ご指摘いただいた避難所のリスク低減などにおいても反映されていると良いかと思う。また、計画自体が空間形成に重きを置いているため、コロナの拡大抑制だけではなく、空間を形成するうえでそれを踏まえるという表現にしたほうが良いかと思っている。記載については検討する。 |
| 委員 | p16 について、余暇活動から見る本市の状況と課題に、若い人があまり活動していないことが書いてある。もう一つ下には、90 歳以上の活動していない割合が 100%、高齢者、障がい者の施設が充実しているというのが約 7% |

| | |
|-----|--|
| | と低い。子育ても 10%台であることから、高齢者等が集える場所を増やすよう、検討してほしい。また、p60 について、狭山池では昔魚が釣れていた。最近の水があまりきれいではない。以前はもう少しきれいだと聞いていたので、シンボルというのであればもう少し考えてほしい。もう少し青少年が自然に親しみを持てるように、考えていただければと思う。 |
| 委員長 | 狭山池については拠点にするということが書かれていたので、その中に今のご要望を深くする方向でいいのではないかなと思う。 |
| 事務局 | p16 の図について、90 歳以上の方々に回答いただいた人数が 3 名なので、必ずしもこのデータによって、市内の 90 歳以上の方が 100%活動をしていないことを示しているわけではない。70~90 代あたりをみると、若い方よりも活発に動いている。下のグラフについて、高齢者や障がい者を支援する施設が充実しているという数字自体はしっかりと受け止め、検討する。本計画については大きな方向性を示しているため、具体的に施設の設置等を示すのは難しいが、P110(4)にあるように、公共施設の在り方の検討についても記載しており、今後検討されると思う。 |
| 委員 | 都市マスの場合と、総計の場合の案件の内容を整理しておくべきである。どちらに重点を置くか等、最初から考えておく必要があったのではないかな。整理が必要だったと思う。 |
| 委員 | 最終的にどのようなまちにするか、というのが一般市民にはなかなか見えてこない。 |
| 委員長 | 概要版やリーフレット等、市民に伝える方法についてはどうお考えか。 |
| 事務局 | 今のところは概要版だけを考えている。たしかに、パッと見て市がどうなるのか、イメージしやすいものがあるといいと思う。本編の中でもイメージをいれたり、写真を入れたりする等、これまでの都市計画マスタープランとは違い、今までよりは見やすい形にはなっていると思う。やわらかい感じの絵でのイメージ等もできればいいかなと思う。これを見ていただいてもみなさんが狭山市のまちづくりがどうなるのかを考えていただくのも良いと思う。 |
| 委員長 | 本編の 1 枚目のところに A3 の計画関係図があるが、基本テーマとテーマ別 |

| | |
|--|--|
| | <p>の方針、後ろにあるイメージ図で大まかな方向付け等をイメージできるようなものがあると良いと思う。興味がある方は概要版を見ていただくとわかりやすいと思う。</p> <p>閉会</p> <p>委員長 事務局には本会議等での意見について、計画への反映等を検討し改定作業を進めていただきますが、パブリックコメントが12月頃に予定されており、それまでに改めて会議を開くのは難しいので、委員長と副委員長で内容確認し、最終調整させていただくということによろしいか。</p> <p>委員 異議なし</p> <p>事務局 庁内調整会議、庁内意見照会、本会議、都市計画審議会での意見等の計画への反映を検討した後、委員長・副委員長と調整させていただき、パブリックコメントに望みたいと思う。</p> <p style="text-align: right;">以上</p> |
|--|--|